



建設
コンサルタント

かぶ しき がい しゃ

株式会社ピーシーレールウェイコンサルタント



もっと、くわしく
見てみよう!

所在地 / 宇都宮市元今泉3-18-13

TEL.028-639-0353 <https://kk-pc.co.jp/>

創業 / 1989(平成元年)年 従業員数 / 154名(2024年12月13日現在)

職場見学可能です

建設コンサルタントって どんなことをしているの?

暮らしに欠かせないインフラ施設の調査・計画や設計を行なっています。

建設コンサルタントとは、生活をする上で必要な橋梁・道路・鉄道や、豪雨災害に対応する河川や砂防などのインフラといわれる施設を調査・計画したり、設計したりする専門家のことです。時間の経過や使用頻度による劣化の点検、大地震に耐える耐震設計など、暮らしを守る縁の下の力持ち的な役割を果たしています。



本社外観

どんな仕事をしているの?

大きく分けて4つの分野の仕事をしています。

【橋梁】

地震や洪水があっても安全な橋の構造や、環境に合わせた工事の方法を考える仕事です。



【道路】

道路を広げたり、電柱を無くして、どうしたら使いやすい道路になるかを考える仕事です。



【河川】

洪水や氾濫などの災害から、人々の生活を守る方法を考える仕事です。



【維持管理】

橋が安全に通れる状態か調査して、危ない橋はどうやって直すか考える仕事です。



こんな仕事をしたよ!

新技術:樋門設計業務(3D技術の活用)

大雨で川の水の量が増えて逆流し、氾濫を起こすことがあります。しかし、樋門(ひもん)という施設があれば氾濫を防ぐことができます。右の写真は、樋門を設計した場合のイメージを3D技術で作成した画像です。立体的に描かれていて、完成形がわかりやすくなっています。



私たちに身近な仕事もあるの? 栃木県内で行なった仕事の中の一部を紹介します。

1 LRT周辺道路の設計



2023年、宇都宮市にLRTが開通しました。私たちの会社では、LRTが快適に走行できるよう周辺の道路の設計を行なっており、宇都宮市のまちづくりに貢献しています。

2 「みずほの通り」橋の設計



みずほの通りを4車線にするために設計された長さ156mの橋は、周辺に住宅があるので、設計の段階から騒音が少ない工事の方法を提案しています。

3 「山手通り」道路の設計



歩道の幅が狭く通りづらい山手通りは、中高生も通学に使っています。そこで、歩行者、自転車、車がお互いにぶつからない、安全な道路を設計しました。

この仕事に向いているのはどんな人? ものづくりが好きな人、社会に貢献したいという強い思いがある人です。

中学生のみなさんは、まず街を歩いているときに目に入る道路、川、橋や鉄道などの身近なインフラ施設を、興味を持って眺めてみてください。そして、そうした施設を誰かが設計をしたり、調査やメンテナンスをして維持していること、そのことがみなさんの暮らしを守っていることに思いを馳せてみてください。まずは、そこがスタートになります。興味が続けば、将来は技術系の専門的な知識を習得していくことになります。



技術系の会社は理系学部卒の求人が多いんだよ! まず数学、理科の勉強を頑張ろう!



働く人の声を聞いてみよう! Q&A

Q.どんな仕事をしていますか?

現在は、堤防の耐震対策に取り組んでいます。大きな地震で堤防が壊れ建物や道路が浸水しないように、堤防が壊れない対策を考えています。みなさんの生活を災害から守る仕事で、とてもやりがいがあります。

Q.どんな時に達成感を感じますか?

覚えることや考えなければならぬことがたくさんあって苦戦することもあります。お客さまを納得させられる資料を作れた時や、私が携った業務の現場を実際に見た時に、達成感を感じます。

Q.大切にしていることは?

インフラの設計は、安全第一です。事故が起こらない安全な橋になっているか、地域の方々が生活しやすい道路になっているか、災害に耐えられる川や堤防になっているかなどを常に考え、設計をしています。

Q.これからの目標は?

道路や橋は普段の生活に必要なだけでなく、災害時には人命救助に直結する重要なインフラです。これから設計の仕事を通して、安全で住みやすいまちづくりに貢献していきたいです。

技術本部 佐藤 さん

技術第二部 淑弘 さん

技術本部 田畑 さん

技術第一部 秀美 さん